

## 平成 29 年度事業報告

### 及び収支決算について

#### 【事業報告】

東日本大震災及び東京電力（株）福島第一原子力発電所事故から 7 年が経過しました。

震災や老朽化に伴う原子力科学館の整備は、平成 30 年 2 月末の別館屋根等の改修工事をもって完了いたしました。また、展示館事業や普及啓発事業につきましては、平成 27 年度を初年度とする「中期計画」に沿って事業を進めているところです。

平成 29 年度は新規事業として、「海外原子力技術者の養成支援事業」を実施するとともに、「原子力科学館リニューアル基本構想策定委員会」を設置し、展示物のリニューアルの基本構想策定を取りまとめました。

原子力科学館の来館者数は、震災後低迷しておりましたが、各種イベントの開催により、平成 29 年度は前年度の入館者数 19,451 名を超え 20,927 名と 2 万名を超えるところまで回復してきております。

今後とも、「中期計画」に沿って着実に事業を推進し、科学技術の振興に寄与してまいります。

#### I 展示館事業

##### 1 原子力科学館の常設展示及び企画展示等

###### (1) 常設展示

	展示名	開催時期	内 容
①	常設展示	通年	・原子の科学や放射線の基礎、原子力と放射線の利用及び原子力の安全に関する展示 ・自然放射線を観察する「大型霧箱」の展示
②	放射線利用展	通年	・医療、工業、農業など広範な分野で利用されている放射線について、実物照射製品、医療施設等の模型、パネルを展示
③	J-PARC の概要	通年	・大強度陽子加速器施設（J-PARC）について、パネル及び模型を展示
④	福島第一原発事故展示	通年	・事故の収束に向けた道筋に関する東京電力資料をパネルで展示 ・本県環境への影響に関する資料を展示
⑤	JCO 臨界事故模型	通年	【経済産業省からの受託事業】 ・JCO 臨界事故について、装置の模型、映像、パネルを展示
⑥	東海第二原子力発電所の安全対策に係る展示	通年	【日本原子力発電(株)からの受託事業】 ・東海第二原子力発電所における、福島第一原発事故以降の安全対策に係るパネル等を展示

⑦	梶田教授のノーベル物理学賞受賞記念展示	通年	・梶田教授のノーベル物理学賞受賞及び J-PARC とスーパーカミオカンデを繋ぐ T2K 実験の解説パネルを展示
---	---------------------	----	--

(2) 企画展示及び関連講演会

	展示名・講演会名	開催時期	内 容
①	日時計の楽しみ	4/25～6/18	・影を利用して時を計る「日時計」は最古の天文観測装置である。世界各地にある様々な日時計を紹介
	講演会「日時計を作って太陽と時刻の関係を知ろう」	6/17	・講師；ひたちなか理科クラブ 川瀬 英幸 氏 ・開催場所；原子力科学館 ・参加人数；27 名
②	出動！国際緊急援助隊-世界は支え合っている	7/11～8/27	・国際緊急援助隊の取り組みをわかりやすく展示し、東日本大震災の被災地に駆けつけた世界各国の救助チームの活躍を振り返り、世界の国々が支え合っていることを紹介
	講演会「水道水ができるまで」	7/22	・講師；県企業局 施設課 大高 史暁 氏ほか ・開催場所；原子力科学館 ・参加人数；82 名
③	星空ウォーク-遠くをのぞくと昔がわかる！？」	11/7 ～12/24	・3次元に配置したカシオペヤ座のなかを散歩しながら、星空の奥行きや宇宙空間の広がり体験する展示
	講演会「宇宙の“遠く”を観測すると何がわかる？」	12/16	・講師；大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台 TMT 推進室 特任研究員 久保 真里子 氏 ・開催場所；原子力科学館 ・参加人数；26 名
④	講演会「高レベル放射性廃棄物の最終処分について」	12/17	・講師；原子力発電環境整備機構 地域交流部部長 羽多野 佳二 氏 ・開催場所；原子力科学館 ・参加人数；24 名

⑤	「錯視」で生活に潤い	2/24 ～3/18	・錯視研究の第一人者である北岡明佳氏の錯視デザイン「蛇の回転」等を使用した生活雑貨及び解説パネルの展示。錯視についての概要や「ものづくり」としての科学技術をパネルで紹介
	講演会「色にまつわるいろんなふしぎ」	2/25	・講師；元原子力科学館 学芸員 柴田 裕輝 氏 ・開催場所；原子力科学館 ・参加人数；26名 計 185名

(注)全国科学館連携協議会との共催による企画展 (①～③, ⑤)

### (3) 貸しギャラリー

	展示名	開催時期	内 容
①	東海村アートロード展	3/22～4/9	・東海村に居住又は勤務する，文化協会東海美術連盟会員及びアートロード会員の作品展（絵画・写真・書）
②	東海フォトクラブ写真展	6/20～7/2	・東海フォトクラブの写真展「日本庭園」などをテーマとした作品
③	美しい自然のランドスケープ写真展	10/17 ～10/29	・広木孝一写真展（大判フィルムを使用した自然風景の作品）
④	常陸てまり展	1/16～2/18	・二川良子氏と教室の生徒によるてまりの作品展
⑤	C P C水戸三人展	1/23～2/4	・キャノンフォトクラブ水戸の会員3名による合同写真展
⑥	東海村アートロード展	3/20～4/8	・東海村に居住又は勤務する，文化協会東海美術連盟会員及びアートロード会員の作品展（絵画・写真・書）

## 2 原子力科学館イベント

	イベント名	開催時期	内 容
(1)	ゴールデンウィークイベント	5/3～5	① まが玉づくり体験 協力；茨城県立歴史館 ② 交通安全教育&白バイ・パトカー乗車体験 協力；ひたちなか警察署 ③ サイエンスショー ～シャボン玉～ 協力；つくばエキスポセンター

			<p>④ 「人工ダイヤモンドを使って氷切り」 協力；国立研究開発法人量子科学技術研究 開発機構 那珂核融合研究所</p> <p>⑤ 液体窒素実験ショー ～環境マシュマロ～</p> <p>⑥ 工作教室「紙コップおぼけ」</p> <p>⑦ ふわふわ（エアドーム）で遊ぼう</p> <p>来館者数；1,314名</p>
(2)	夏休みイベント	7/22～8/27	<p>① 紙アクアリウム（自分の描いた絵が動きだす）</p> <p>参加人数；2,017名</p>
		7/22	<p>② 講演会「水道水ができるまで」</p> <p>詳細は I 1(2)参照</p>
		7/29～8/31	<p>③ 夏休みスタンプラリー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日鉱記念館</li> <li>・日立シビックセンター科学館</li> <li>・げんでん東海テラパーク</li> <li>・大洗わくわく科学館</li> <li>・原子力科学館</li> </ul> <p>詳細は I 3(1)参照</p>
		8月の金, 土,日曜日	<p>④ アインシュタイン広場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学相談</li> <li>・自然放射線測定体験・観測体験</li> <li>・放射線チャレンジクイズ</li> </ul> <p>参加人数；2,844名</p>
		8/9	<p>⑤ 体験教室「アンモナイトや三葉虫などの化石 のレプリカを作ろう」</p> <p>詳細は II 1(3)参照</p>
		8/10	<p>⑥ 体験教室「いろいろなもので電気を作ろう」</p> <p>詳細は II 1(3)参照</p>
		8/11	<p>⑦ 体験教室「手づくり分光筒でエネルギーを考 えよう」</p> <p>詳細は II 1(3)参照</p>
		7/22～8/31	<p>来館者数；6,162名</p>

(3)	クリスマス イベント	12/16, 17	<p>① 講演会「宇宙の“遠く”を観測すると何が分かる？」 詳細は I 1(2)参照</p> <p>② 講演会「高レベル放射性廃棄物の最終処分について」 協力；原子力発電環境整備機構 詳細は I 1(2)参照</p> <p>③ コミュニケーション 3Dシアター ジオミライ号 協力；原子力発電環境整備機構</p> <p>④ 工作教室「エコキャンドルをつくろう」</p> <p>⑤ ふわふわ（エアドーム）で遊ぼう 来館者数；475名</p>
(4)	バレンタイン イベント	2/10, 11	<p>① 実験教室「万華鏡を作ろう」 詳細は II 1(3)参照</p> <p>② 実験教室「何もないのに何かある！真空の科学」 協力；国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 J-PARC センター</p> <p>③ 実験教室「カルメ焼きを作ってみよう！」 協力；おもしろ理科先生</p> <p>④ ふわふわ（エアドーム）で遊ぼう 来館者数；545名</p>
(5)	親子星空観望会& ナイトミュージアム	8/1 8/3 12/13 3/1	<p>参加人数；59名</p> <p>参加人数；74名</p> <p>参加人数；52名</p> <p>参加人数；29名 計 214名</p>
(6)	ふわふわ（エアドーム）で遊ぼう	4/15～3/18	<p>4～6月, 10～3月の第3土日及び イベント開催日 5/3～5, 12/16, 17, 2/10, 11 利用者数；1,314名</p>
(7)	科学館 クイズラリー	4/29～5/7 9/16～24 12/23～1/21 3/17～4/8	<p>参加人数；156名（5日間）</p> <p>参加人数；87名（8日間）</p> <p>参加人数；254名（17日間）</p> <p>参加人数；396名（20日間） 計 893名</p>

### 3 近隣科学館との連携

#### (1) 夏休みスタンプラリー

日鉱記念館，げんでん東海テラパーク，日立シビックセンター科学館，大洗わくわく科学館及び原子力科学館にて、定期的に情報交換等を実施。また，5館による夏休みスタンプラリーを7/29～8/31に実施し，5館達成者130名，3館達成者339名に記念品を贈呈した。

#### (2) 2館スタンプチャレンジ

新たに，げんでん東海テラパークとの2館スタンプチャレンジを1/16～2/18に実施し，2館達成者1,564名に記念品を贈呈した。

#### (3) 親子星空観望会

日立シビックセンター科学館よりボランティアスタッフとして対応いただいた。  
(8/1, 8/3, 12/13, 3/1)

### 4 原子力科学館の運営管理

#### (1) 展示施設の維持管理

- ① 地震時避難誘導訓練（毎月）
- ② 火災時の通報訓練，消火訓練（1回/年，2月5日）
- ③ 普通救命講習会（1回，5月29日）
- ④ 別館屋根等の改修工事（平成29年8月3日～平成30年2月28日）

#### (2) 原子力科学館への誘客広報

- ① 周辺地域の公共施設，観光施設等に原子力科学館パンフレットを常時配置
- ② 近県の旅行代理店やバス事業者に原子力科学館リーフレットを送付
- ③ 原子力科学館の年間イベントスケジュールの早期発信

### 5 平成29年度入館者数

	29年度	28年度	27年度	増減 (29年度－28年度)	備考 (22年震災年度)
団体	3,436	3,045	3,003	391	5,801
個人	17,491	16,406	14,069	1,085	25,232
計	20,927	19,451	17,072	1,476	31,033

## II 普及啓発事業

### 1 講演会，セミナー等開催事業

	事業名	実施時期	内 容
(1)	教員向けセミナー	7/25～8/23 (8日間)	原子力教員セミナー【茨城県からの受託事業】 県内の教職員，教育委員会職員を対象に「放射線の基礎知識の講義」，「身の回りの放射線測定体験」，「目で見る放射線観測体験」，「原子力関連施設の見学」を実施 開催場所；県オフサイトセンター 原電総合研修センター 原子力科学館 実施回数；8回 参加人数；280名
(2)	出前授業	9/26～2/21	学校への原子力専門家派遣事業 【茨城県からの受託事業】 学校へ出向き，授業の一環として放射線に関する実験教室や講演を実施 開催場所；東海村立白方小学校など 実施回数；30回 参加人数；2,989名 (詳細は別表1のとおり)
(3)	サイエンス工房	5/3 5/3, 4 5/4 5/5 5/5 8/9 8/10	次世代層を対象に，科学への関心・興味を喚起することを目的に実施 開催場所；原子力科学館 ① まが玉づくり体験 協力；茨城県立歴史館 参加人数；148名 ② 工作教室「紙コップおぼけ」 参加人数；218名 ③ サイエンスショー ～シャボン玉～ 協力；つくばエキスポセンター 参加人数；172名 ④ 液体窒素実験ショー ～環境マッシュマロ～ 参加人数；200名 ⑤ 「人工ダイヤモンドを使って氷切り」 協力；国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所 参加人数；124名 ⑥ 「アンモナイトや三葉虫などの化石のレプリカを作ろう」 参加人数；87名 ⑦ 体験教室「いろいろなもので電気を作ろう」 参加人数；109名

		8/11	⑧ 体験教室「手づくり分光筒でエネルギーを考えよう」 参加人数；107名
		12/16, 17	⑨ 工作教室「エコキャンドルをつくろう」 参加人数；103名
		2/10	⑩ 実験教室「何もないのに何かある！真空の科学」 協力；国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 J-PARC センター 参加人数；74名
		2/10, 11	⑪ 実験教室「万華鏡を作ろう」 参加人数；111名
		2/11	⑫ 実験教室「カルメ焼きを作ってみよう！」 協力；おもしろ理科先生 参加人数；48名 合計；1,501名
(4)	講演会の開催		展示館事業の企画展示及び関連講演会参照
(5)	シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」		アインシュタインスクール 【高萩市との共催事業】 (会場；高萩市総合福祉センター)
		9/24	① 第1回 演題；放射線の基礎 講師；茨城大学教授 田内 広 氏 参加人数；33名
		10/14	② 第2回 演題；原子力事故と安全・防災対策 講師；東京大学教授 岡本 孝司 氏 参加人数；34名
		11/18	③ 第3回 演題；放射性廃棄物と原子燃料サイクル 講師；東京大学教授 寺井 隆幸 氏 参加人数 32名
		12/23	④ 第4回 演題；世界と日本のエネルギー問題 講師；常葉大学教授 山本 隆三 氏 参加人数；27名
		1/27	⑤ 原子力施設見学会；日本原子力発電(株) 東海第二発電所 参加人数；25名 合計；151名



(6)	原子力と放射線の基礎知識普及啓発講座	9/15	普及啓発講座【茨城県からの受託事業】 ① 第1回 共催；日立市 受講者；大沼学区コミュニティ推進会生涯学習部 講師；中瀬 恒雄 氏 開催場所；日立市大沼交流センター 参加人数；65名
		10/17	② 第2回 共催；城里町 受講者；城里町役場職員 講師；中瀬 恒雄 氏 開催場所；城里町役場 参加人数；33名
		11/10	③ 第3回 共催；東海村 受講者；東海村役場職員 講師；大友 昭敏 氏 開催場所；東海村役場 参加人数；20名
		1/24	④ 第4回 共催；石岡市 受講者；石岡市自主防災組織代表等 講師；中瀬 恒雄 氏 開催場所；八郷総合支所 参加人数；131名
		2/3	⑤ 第5回 共催；水戸市 受講者；申込者（個人） 講師；中瀬 恒雄 氏 開催場所；水戸市生涯学習センター 参加人数；9名
		2/4	⑥ 第6回 共催；常陸太田市 受講者；竹合町自主防災会 講師；中瀬 恒雄 氏 開催場所；竹合新農村集落センター 参加人数；22名
		2/8	⑦ 第7回 共催；那珂市 受講者；那珂市役所職員 講師；大友 昭敏 氏 開催場所；那珂市役所

		3/20	<p>参加人数；57名</p> <p>⑧ 第8回 共催；桜川市 受講者；桜川市役所職員及び個人 講師；大友 昭敏 氏 開催場所；桜川市大和中央公民館 参加人数；37名</p> <p>合計；374名</p>
(7)	出前原子力展示	<p>8/26</p> <p>10/8</p> <p>11/3</p> <p>11/23</p>	<p>市町村等のイベントに霧箱やパネルを展示し，放射線や原子力の基礎知識のミニ教室を開催</p> <p>① なかひまわりフェスティバル 開催場所；那珂総合公園 参加人数；503名 (主催者発表入場者数；40,000名)</p> <p>② 鉾田うまかっぺフェスタ' 17 開催場所；鹿島灘海浜公園 参加人数；824名 (主催者発表入場者数；35,000名(2日間))</p> <p>③ 大洗商工感謝祭 開催場所；大洗マリンタワー周辺 (主催者発表入場者数；50,000名)</p> <p>④ 東海 I～MO のまつり 開催場所；東海文化センター 参加人数；1,000名 (主催者発表入場者数；24,000名)</p>
(8)	<p>視察研修 研修会 I</p> <p>研修会 II</p>	<p>10/19, 20</p> <p>12/1</p>	<p>①研修 I 宮城方面(東北電力女川原子力発電所，東北電力新仙台火力発電所PR館，東北電力三居沢電気百年館) 参加人数；21名</p> <p>②研修 II 福島方面(福島第一原子力発電所) 参加人数；23名</p>
(9)	ひたちなか市 原子力科学工作教室	8/5	<p>【ひたちなか市からの受託事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目で見える放射線観測体験(霧箱作製)</li> </ul> <p>会場；原子力科学館 参加人数；14名</p>

(10)	那珂市 原子力科学工作教室	8/3  8/24	<p>【那珂市からの受託事業】</p> <p>小学生(4～6年生対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目で見える放射線観測体験(霧箱作製)</li> </ul> <p>会場;原子力科学館 参加人数;35名</p> <p>親子(1～3年生対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目で見える放射線観測体験(霧箱作製)</li> </ul> <p>会場;原子力科学館 参加人数;43名</p>
(11)	銚田市 原子力施設見学会	11/12	<p>【銚田市からの受託事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>げんでん東海テラパーク及び原子力科学館の見学</li> <li>講義「放射線の基礎知識」(成人)</li> <li>目で見える放射線観測体験(霧箱作製)</li> </ul> <p>参加人数;31名</p>
(12)	職場体験	10/30, 31	<p>職場体験</p> <p>会場;原子力科学館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東海南中学校2年生 2名</li> <li>放射線の基礎-測定実験</li> <li>学芸員の業務-工作教室の実演</li> </ul>
(13)	海外原子力技術者の養成支援(原子力安全・放射線防護コースの実施)	11/27～12/8	<p>【原子力国際協力センターからの受託事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主催;原子力国際協力センター</li> <li>会場;原子力科学館</li> <li>視察;JAEA, 日立GE, 三菱原燃他</li> <li>ポーランド政府職員, 原子力事業会社技術者</li> </ul> <p>10名</p>
(14)	新春のつどいの開催	1/10	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場;水戸プラザホテル</li> <li>参加人数;345名</li> <li>出席者;国会議員, 県知事, 県議, 市町村長, 正会員, 賛助会員他</li> <li>出展ブース;土浦市, 石岡市, 龍ヶ崎市, 取手市, 牛久市, 守谷市, 稲敷市, かすみがうら市, つくばみらい市, 美浦村, 阿見町, 河内町, 利根町, (株)アトックス, (公社)茨城原子力協議会</li> </ul>
(15)	原子力広報機関連絡会の開催(第32回)	10/25	<p>原子力広報機関連絡会は毎年1回5機関事務局持回りで開催</p> <p>各機関からの質問事項に対して意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加機関; <ul style="list-style-type: none"> <li>(公財) 柏崎原子力広報センター</li> <li>(公財) 能登原子力センター</li> <li>(公財) 福井原子力センター</li> <li>(公財) 伊方原子力広報センター</li> </ul> </li> </ul>

			(公社) 茨城原子力協議会 ・開催場所；品川インターシティホール
--	--	--	-------------------------------------

## 2 調査・分析，資料収集・提供事業

### (1) 広報紙「かがやき」の発行

発行回数	4回/年
発行部数	10,000部 (2,500×4回)
主な内容	<p>第65号 (7月20日発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度定時総会を開催，GWイベント報告，原子力機構汚染・被ばく事故について，市町村夏のイベント情報，展示館イベント情報他</li> </ul> <p>第66号 (9月14日発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み特別企画講演会を開催，原子力教員セミナー開催報告，夏休み原子力科学館イベント写真展，市町村秋のイベント情報，展示館イベント情報，シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」のお知らせ他</li> </ul> <p>第67号 (12月14日発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」を開催，職場体験学習を経験して，研修等事業研修会Iを開催，イベント出展報告，市町村冬のイベント情報，展示館イベント情報，シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」のお知らせ他</li> </ul> <p>第68号 (3月8日発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年新春のつどいを開催，シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」報告，市町村春のイベント情報，展示館イベント情報他</li> </ul>

\*本年度も，原子力協議会ホームページに掲載し，適時に情報提供を図った。

### (2) 原子力施設安全調査員の市町村等への配置【茨城県からの受託事業】

実施時期	平成29年4月1日～平成30年3月31日
配置先及び配置人数	茨城県，東海村，大洗町 各2名 那珂市，水戸市，鉾田市，日立市，常陸太田市，茨城町 各1名
活動内容	原子力防災や環境放射線監視業務の支援

### (3) 環境放射線監視データの整理・分析【茨城県からの受託事業】

実施時期	平成29年5月8日～平成30年3月31日
実施内容	監視委員会評価部会報告書(案)取りまとめ，データ分析，印刷 85部×4回 監視委員会評価部会報告書取りまとめ，印刷 105部×2回 環境放射線監視季報 取りまとめ，印刷 320部×2回

(4) 放射線相談員派遣業務【東海村からの受託事業】

実施時期	平成 29 年 5 月～平成 30 年 2 月
実施場所	村内コミュニティセンター6 か所, 図書館, 総合福祉センター「絆」
実施回数	18 回
実施内容	放射線が人体へ及ぼす影響を正しく理解し, 住民の安全・安心に寄与するために相談コーナーを設置し, 相談員を派遣

(5) 新聞及びラジオを媒体とする原子力広報【茨城県からの受託事業】

新聞広報	
実施時期	平成 30 年 2 月 24 日(4 紙)、3 月 3 日(3 紙)
実施回数	1 回
実施内容	原子力の一般知識を普及啓発するため, 新聞に原子力をテーマとした記事を掲載 サイズ; 全 5 段 黒 1 色 掲載紙; 地方紙 1 紙 (茨城), 中央紙地方版 5 紙 (朝日・読売・毎日・東京・産経), 経済紙 1 紙 (日経) テーマ; 楽しく学べる原子力、研究所で見て学ぶ原子力
ラジオ広報	
実施時期	平成 30 年 2 月 19 日～3 月 16 日
実施回数	40 回 (2 回/日)
実施内容	茨城放送を活用し, 専門家がアナウンサーの問いにわかりやすく答える Q & A 形式で実施。質問内容は, 各種講演会等で寄せられたものをベースに作成

### Ⅲ 役員等に関する事項

	日程	審議事項
第1回理事会	5月22日	平成28年度事業報告及び収支決算, 中期計画の一部見直し, 事務局長の任命, 定時総会の開催について
定時総会	6月27日	平成28年度事業報告及び収支決算, 理事及び監事の選任, 中期計画の一部見直しについて
第2回理事会	6月27日	会長・副会長・常務理事の選定, 顧問の委嘱について
第3回理事会	11月17日	平成29年度収支予算の補正(案), 特定資産の取崩し, 賛助会員の入会について
第4回理事会	2月23日	平成29年度事業報告, 収支予算の補正及び収支決算見込み, 平成30年度事業計画及び収支予算等について

### Ⅳ 組織体制等に関する事項

#### 1 財務体質の強化

会員の退会及び年会費の減額が相次ぎ, 更に施設・設備の老朽化に伴う修繕費の増加が避けられず, 財務状況は依然として厳しい状況にある。

このため, 新規会員の獲得, 退会の慰留, 会費の増額要請のほか, 経費の削減や新規事業の獲得を図るなど, 財務体質の強化に努めた。

#### 2 事業力の強化

海外原子力技術者(ポーランド政府職員及び原子力事業会社技術者)の養成事業(原子力安全・放射線防護コースの実施)を新たに受託するとともに, 那珂市からは親子向けの普及啓発事業を, また, 近隣科学館との連携事業をげんでん東海テラパークとで実施するなど事業力の強化に努めた。

#### 3 組織体制

数少ない人的資源を有効に活用するため, 日頃から職場研修等を通じて, 職員の事務処理能力の向上とスキルアップを図るとともに, 「顧客第一」の徹底を図った。